



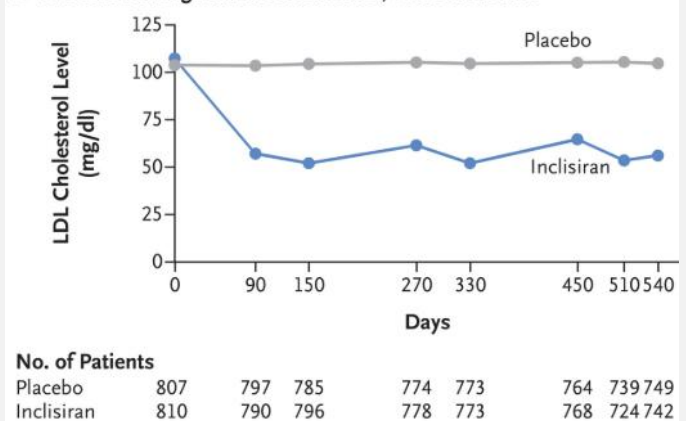
## Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

脂質低下の新たな選択肢：半年に1回の皮下注射薬  
インクリシラン(レクビオ)

急性冠症候群(ACS)患者では、再発予防のためにLDLコレステロール(LDL-C)を厳格に管理することが重要です。日本動脈硬化学会ではLDL-C目標値は70 mg/dL未満、海外ガイドラインではLDL-C目標値は55 mg/dL未満に設定されています。ガイドラインに準じた脂質管理達成のため、当院では2023年に発売された皮下注射の脂質低下薬である、インクリシラン(商品名:レクビオ)を使用する機会が増えています。インクリシランは初回投与後、2回目は3ヶ月後、以降は半年毎の注射となり、患者負担が少ないメリットがあります。肝細胞におけるPCSK9産生をsiRNAにより抑制し、LDL受容体の分解を抑えることでLDL-Cを持続的に低下させ、第Ⅲ相臨床試験であるORION-10試験およびORION-11試験では、最大耐用量スタチン治療下においても約50%のLDL-C低下効果が示され、その効果は長期にわたり安定して持続しました。

インクリシランは十分なLDL-C低下効果と良好な安全性を兼ね備えており、従来治療でLDL-C目標未達患者や再発を繰り返すACS患者に対して、有用な治療となっております。

D Absolute Change in LDL Cholesterol, ORION-11 Trial



Ray KK, et al. N Engl J Med. 2020;382:1520-1530.

文責 小澤 千尋

## スタッフ紹介 Vol.45



## 前川 真基

医師  
麻酔科 科長  
2010年 東京大学卒

麻酔科医の前川です。大規模病院での勤務やアメリカ留学を経て、現在は当院で麻酔管理を担当しております。どのような状況下でも常に冷静かつ丁寧に、黒衣として安全な全身管理を提供することが私の信条です。患者さん一人おひとりに合わせた最適な全身管理を追求し、手術チームの一員として、地域の皆さまに安心していただける医療を提供できるよう、これからも邁進してまいります。

